



世界42カ国が涙したベストセラーを、『ブルーバレンタイン』監督が映画化!



孤島に暮らす灯台守の夫婦。他に誰もいない。そう願うほど幸福だった。その〈罪〉に気づくまでは――。

心を閉ざし孤独だけを求め、オーストラリアの孤島で灯台守となったトム。しかし、美しく快活なイザベルが彼に再び生きる力を与えてくれた。彼らは結ばれ、孤島で幸福に暮らす。度重なる流産はイザベルの心を傷つける。ある日、島にボートが流れ着く。乗っていたのは見知らぬ男の死体と泣き叫ぶ女の子の赤ん坊。赤ん坊を娘として育てたいと願うイザベル。それが過ちと知りつつ、願いを受け入れるトム。4年後、愛らしく育った娘と幸せの絶頂にいた2人は、偶然にも娘の産みの母親ハナと出遇ってしまう――。

原作:「海を照らす光(上下)」 M・L・ステッドマン
古屋美登里訳、ハヤカワ文庫



5月 ROADSHOW

ムビチケカード発売中!! ¥1,500(税込) ※当日一般¥1,800の処
※劇場窓口でお買い上げの方にオリジナルポストカード 3 枚セットをプレゼント(先着限定)

地下鉄日比谷駅A5出口 左側 【全席指定】
TOHOシネマズ シャンテ
050-6868-5001 www.tohotheater.jp

『きみに読む物語』『P.S. アイラヴユー』に続く
今年最高の愛の感動作!

イザベル―孤独だった僕の人生を照らしたのは、君の愛だった。



アカデミー賞®主演男優賞ノミネート
マイケル・ファスベンダー

アカデミー賞®助演女優賞受賞
アリシア・ヴィキャンデル

アカデミー賞®助演女優賞受賞
レイチェル・ワイズ

光をくれた人

the light between oceans

『ブルーバレンタイン』

デレク・シアンフランス監督最新作

WARNER BROS. PICTURES, DELICANCE ENTERTAINMENT and PHANTOM FILM PRESENT AN ASSOCIATION WITH PARTICIPANT MEDIA & HEYDAY FILMS PRODUCTION A DEREK CIANFRANCE FILM
"THE LIGHT BETWEEN OCEANS" MICHAEL FASSBENDER ALICIA VIKANDER RACHEL WEISZ BRYAN CRIVIN and JACK THOMPSON "P.S. I LOVE YOU" ALEXANDER DESPLAI 監修 ERIN BENASH
"THE LIGHT BETWEEN OCEANS" PRODUCED BY DON PRADIC, JIM HELLON, KAREN MURPHY, JESSICA ADAM, ADAM ARKAPAW, TOMASZ KARWINSKI, ROSIE ALESON, JEFF SKILL, JONATHAN KING
DIRECTED BY DEREK CIANFRANCE
CASTING BY JEFF SKILL
COSTUME DESIGNER JONATHAN KING
EDITED BY JEFF SKILL
PRODUCTION DESIGNER JONATHAN KING
EXECUTIVE PRODUCERS DEREK CIANFRANCE, JONATHAN KING
PRODUCED BY DEREK CIANFRANCE, JONATHAN KING
WRITTEN BY M.L. STEDMAN
BASED UPON THE BESTSELLING NOVEL BY M.L. STEDMAN
SCREENPLAY BY DEREK CIANFRANCE
DISTRIBUTED BY PHANTOM FILM
www.hikariwokuretahto.com

原作:「海を照らす光」(M・L・ステッドマン/古屋美登里訳/ハヤカワ文庫) 提供:ファントム・フィルム / KADOKAWA / 朝日新聞社 配給:ファントム・フィルム

ティッシュ会社の株価が上がるほど観客は泣くに違いない!

—The Guardian

★★★★★The Guardian
★★★★★The New York Times
★★★★★Entertainment Weekly
★★★★★Los Angeles Times
★★★★★The Telegraph
マスコミが絶賛!!

地球サイズの美しい景色は
記憶から消えないと思えました。
そんな孤島にこんな苦悩が潜んでいようとは…
良心の呵責は贖われるまでつきまとう
怖くて美しいストーリー!
大人は大好きねこの作品。

風吹ジュン(女優)

人間の本质をえぐるねえ正真正銘、
これ以上ないハッピーエンドに至るためのそれぞれの苦闘と勇気!
アッパレやホンマにこんな男あるんか!
これ見たらちょっと明日が変わると思います。

綾戸智恵(ジャズシンガー)

観ている私たちは誰も憎むことができない。
彼らに寄り添い、苦しみまでも共有し、
そして優しく力強いある言葉に救われる。
まるで暗闇を貫くひと筋の光のよう。
映像、音楽、演技、全てが美しかったです。

豊田エリー(女優・タレント)

僕らもこの主人公トムと同じように
灯台に孤独に過ごしている一人だ。
他人には決して見せることがない秘密をみんな抱えている。
本作はその「秘密」を見事にえぐり出すことにより
今はたとえ出口の見えない闇であっても
一筋の光を照らしてくれると背中を押してくれる傑作。
悩み多き現代人こそ見るべき一本。

有村昆(映画コメンテーター)

立場を逆にするとどちら側の気持ちにも、
激しく共感せずにいられない。
深い愛と罪悪感、本能と理性の狭間で
心が引き裂かれる。
もう痛すぎて、胸が張り裂け、号泣!
穏やかなラストが余計に胸を揺さぶる。

折田千鶴子(映画ライター)

2人の女、どちらにも自分を重ねてしまう。
気がついたら2人分幸せを感じ、
そして悲しくて泣いていた。

犬山紙子(イラストエッセイスト)

愛のために、
彼らは何を決断するのか。
ラスト10分、
もう涙は止められない。

誰もが幸せになりたいと願い生きている。
人生の暗闇の中で彷徨っていた時、
光を見つけたとしたら、きっと誰もが離しはしないだろう。
愛とは、生きるとは、赦すとは…
深く深く心に突き刺さる映画だ。

檀れい(女優)

光は導きながら、また、他の光を必要としている。
彼らはときに荒波の揺れる小舟になったり、
灯台の光となる。
強い風のなか、互いにぶつかり、
赦しあう姿に心が打たれた。

今日マチ子(漫画家)

“母親になりたい”
アリシア・ヴィキャンデル演じるヒロインの
魂の叫びが切なく響く。
心から信じ合い、愛し合う夫婦の
苦悩する姿に揺さぶられる。

立田敦子(映画ジャーナリスト)

この映画を観る事は、心の洗浄そのもの。
洗い流した後、本当に必要な力だけを心に残してくれます。
激しく、切なく、温かい、誰もが持つ素敵な感情…
人を愛して愛されるという、本来の力です。

稲本えりか(総合探偵社TTS メンタル心理カウンセラー)

人を恨もうとしたら、いつも不愉快なそのことを
考えていなきゃいけない。
ほんとは一度赦すだけで、その苦しみは終わるのに。
光の先に苦悩があり、苦悩の先に光がある。
小さな宝石のような大切な物語だった。

佐々木俊尚(作家・ジャーナリスト)

決して許されることではないとわかっていながらも、
心では彼らを応援せずにいられません。
どんな状況でもこんなに強くてやさしい夫がいるなんて信じられない。
人間の脆さと激しさをこの映画で思い知らされました。

栗原はるみ(料理家)

夫婦の愛、子供への愛、
複雑に絡み合った数奇な運命の結末に涙が溢れでる。
孤島に立つ灯台から照らされるひとすじの光明に、
生きる勇気が湧いてくる。

假屋崎省吾(華道家)

じれったいくらい丁寧な積み重ねの果て、
これは“赦し”についての映画なんだと思った瞬間、
見事に涙腺が決壊しました。
この監督、やっぱりなんかすごい…!

山内マリコ(作家)

まるで「嵐が丘」のように、
孤島の厳しい風にさらされ、
試される愛の強さ。
古風なロマンスで、
いまの映画スター二人の恋が輝いている!

萩原麻理(映画ライター)

2つの海と2人の母。その狭間にある〈光〉。
深く愛するがゆえに、
引き裂かれる夫と妻、家族、母と娘…。
その結末に多くの人は胸を打たれるでしょう。

中野信子(脳科学者)

<母性愛・夫婦愛・家族愛>。
絡まるそれぞれの愛と苦しみが切ない。
海が運んできた娘がもたらす<罪と赦し>が心に響く。

きさらぎ尚(映画評論家)